

別府市における熊本地震被災後の対策指導

東部振興局 安部英子、江頭潤一
日出耕地事務所 本田豊治

東部管内では、4月に発生した熊本地震において、震度6を記録した別府市で、農地や農業水路等の農業現場と漁業現場で被害が発生しました。

1 農業現場

農家が田植に向けた作業を開始する時期であったため、市役所、農協、振興局が被災された農家の現地確認を行うとともに、それぞれの田植え時期を想定した計画的な育苗管理に向けて指導の徹底を行いました。



対応手順・技術資料

併せて、①田植え時期の晩限 ②苗の老化軽減対策 ③他品目の検討等、万が一、復旧工事が遅れた場合の技術資料を作成し、JAべっぴ日出管内の水稻生産者約100名に配布しました。

また、日出水利耕地事務所からも「農地・農業用施設が地震で被災した時の対応手順」の資料を配布し、早期の復旧に向けて情報の周知・徹底を図りました。



農業水路への落石
(別府市山の口地区)

これらの活動や水路の応急対応の結果、心配された田植えも大幅な遅れは見られず、営農の維持が図られています。今後も水稻の生育を確認しながら、迅速な現場対応が行えるよう関係機関と連携し活動していきます。

2 漁業現場

亀川漁港では4月16日の地震発生直後、港の様子がおかしいとの情報が寄せられたことから、職員がすぐ現地に向かい被害状況を確認しました。

漁港のアスファルト上には、地盤から吹き上げられたとみられる砂が堆積し、岸壁の一部にはひび割れがみられました。

これらの状況を災害対策本部へ伝達し、応急措置がとられました。



漁港に堆積した砂